

## 〇〇立〇〇〇学校 学力向上プラン (2月)

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題  2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況	1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題
指導の状況	1 組織的な授業改善の取組状況  2 その他の学力向上に向けた指導の実施状況 ・例 家庭学習指導	



学力達成指標	※学校評価の4点セットに学力向上を設定した場合は、【達成指標】と授業改善5点セットの【検証指標】の両方を書く ※学校評価の4点セットに学力向上を設定していない場合は、授業改善5点セットの【検証指標】を書く ※次年度の目標指標を記載すること
--------	---



(次年度の)具体的な取組	<b>【授業改善】</b> (授業改善テーマ) (授業改善の重点)	<b>【家庭・地域との協働】</b> (達成指標) ※必要があれば
	(取組内容)                      (取組内容)	(家庭・地域の取組内容)
	(取組指標)                      (取組指標)	(家庭・地域の取組指標)
	<b>【その他の学力向上の取組】</b>	
今年度中の取組内容		

【学校名】

--

<p>実態(課題)の把握</p> <p>(1)体力調査結果等から <span style="float: right;">以下を参考にして記入してください</span></p> <p>①総合評価(ABCDE) ②合計得点 ③各項目別に見る特徴的なこと</p> <p>(2)生活習慣調査等から</p> <p>①運動・スポーツに対する意識 ②運動・スポーツの実施頻度</p> <p>③朝食の摂取状況 ④睡眠時間の状況 ⑤家庭における運動習慣</p> <p>(3)特徴的な様子から</p> <p>(1)(2)以外から見た児童生徒の特徴的な様子</p>	
① 重点 目標	<p>①～④について、「学校評価の4点セット」の重点目標に体力関連の項目を設定する場合には、「学校評価の4点セット」との関連性を意識してなるべく連動させる。</p> <p>※重点目標は焦点化して設定してください</p>
② 達成 指標	<p>※以下の例を参考に焦点化して記入してください</p> <p>①体力調査の総合評価ABC群の割合を〇〇%増やす</p> <p>②体力調査における全国平均以上の項目を〇〇割以上にする</p> <p>③「ほとんど毎日運動する」児童生徒の割合を〇〇%増やす</p> <p>④運動やスポーツが「好き・やや好き」と感じる児童生徒を〇〇%以上にする</p>
③ 重点的 取組	<p>※「②達成指標」の達成につながる取組を以下の視点を参考にして記入してください</p> <p>①学校で</p> <p>②家庭・地域と連携して</p> <p>※この中の特徴的な取組が「一校一実践」となります(体育授業以外での活動が望ましい)</p>
④ 取組 指標	<p>※「誰が」「何を」「どれくらいの頻度で」行うかがわかるように記入してください</p> <p>「③重点的取組」に向けての過程(プロセス)を大切にします</p>
<p>プランの検証と改善(検証頻度と検証方法)</p>	

【一校一実践タイトル名と取組内容の概要】

タイトル名	
<p>※「③重点的取組」の中から、学校の特徴的な取組を挙げ、概要を記入してください</p>	

【学校名】

実態(課題)の把握		以下を参考にして記入してください。
<p>(1)不登校等に関する状況について</p> <p>※以下の点に留意して、自校の不登校等の状況を記入してください。</p> <p>①国や県平均と比較した1000人当たりの不登校児童生徒数の推移</p> <p>②複数年度に渡り継続している不登校や、新規に不登校となった児童生徒数</p> <p>③年間欠席日数が30日以下あるいは90日以上、出席日数が0日の児童生徒数 など</p> <p>(2)自校の課題について</p>		
① 重点 目標	<p>①～④について、「学校評価の4点セット」の重点目標に不登校関連の項目を設定する場合には、「学校評価の4点セット」との関連性を意識してなるべく連動させる。</p> <p>※重点目標は焦点化してください。</p>	
② 達成 指標	<p>※以下の記入例を参考にして記入してください。</p> <p>(1)新規の不登校児童生徒数を「0」にする。</p> <p>(2)不登校児童生徒の出現率を〇〇%以内にして昨年度よりも減少させる。</p> <p>(3)「学校が楽しい」「授業がよく分かる」と感じる児童生徒を〇〇%以上にする。</p>	
③ 重点 的取 組	<p>※「②達成指標」の達成につながる取組を以下の3項目をベースにして記入してください。</p> <p>(1)「未然防止」・・・児童生徒の良好な人間関係をつくるための取組を日常的に行う。</p> <p>(2)「初期対応」・・・「あったかハート1・2・3」を徹底し、初期の欠席に100%対応する。</p> <p>(3)「学校復帰支援」・・・不登校対策委員会を定例化し、SCやSSWを含めたケース会議を月1回以上実施する。</p> <p>※不登校児童生徒が在籍しない場合は、(1)(2)の項目をベースにして記入してください。</p>	
④ 取組 指標	<p>※「何を」「どれくらいの頻度で」行うかがわかるように具体的に記入してください。</p> <p>「③重点的取組」に向けての過程(プロセス)を大切にします。</p> <p>(1)の例・・・児童生徒の人間関係づくりを構築し、日常的な班活動等に取り組む。</p> <p>(2)の例・・・欠席初日電話、2日目電話か家庭訪問、3日目家庭訪問を必ず行う。</p> <p>(3)の例・・・不登校対策委員会の他に毎週1回連絡会を開催し、不登校担当者、学級担任、SC、SSW、養護教諭が集まり不登校児童生徒の情報を共有する。</p>	
<p>検証・改善(検証頻度と検証方法)</p> <p>※少なくとも学期ごとに検証した上で、達成指標に到達するよう年度途中でも、重点的取組や取組指標の改善を行うことが大切です。</p>		

【SC、SSW、地域不登校防止推進教員を校内でどのように活用するかを記入してください】

### SC、SSW、地域不登校防止推進教員の位置づけ、活用方法について

SC,SSW:校内での位置づけについて  
 地域不登校防止推進教員:学校での活用方法について具体的に記入してください。

SC・・・スクールカウンセラー      SSW・・・スクールソーシャルワーカー